

教科	科目	学年	単位数
地理歴史	世界史探究	2年	4
使用教科書		副教材	
『新詳世界史探究』（帝国書院）		『図説 世界史詳覧』（浜島書店）	

1. 学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

・年4回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況を評価します。

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

学期	月	試験	授業内容 (教科書)	その他 (到達目標・学習のポイントなど)
1 学 期	4		1部 世界史へのまなざし 2部 諸地域の歴史的特質の形成 序章 古代文明の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、中国の中央集権的な統治体制と社会や文化の特色、中国と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域に与えた影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、南アジアと東南アジアが東西交易の中で隣接する文明圏の影響を強く受けて発展し、また宗教も東西交易の中で各地域に広まったことなどを多面的・多角的に考察し、表現する。
	5		1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 1. 中華文明の形成 2. 秦漢帝国と東アジア 3. 中央ユーラシアと遊牧国家 4. 遊牧帝国の興亡と移動 5. ユーラシアの変動と東アジア	
	6	《定期試験》	2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質 1. 南アジアの文明と国家形成 2. 東南アジアの社会と国家形成	
2 学 期	7			
	8		3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質 1. オリент文明の興亡 2. 地中海周辺の国家形成 3. 地中海周辺と西アジアの帝国 4. ヨーロッパへ広がるキリスト教	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、それぞれの地域における諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。また、ユダヤ教やキリスト教、イスラームといった一神教の成立と拡大について、時代背景に留意しながら考察し、表現する。 ・ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。
	9		5. イスラーム教の誕生 3部 諸地域の交流・再編 1章 ユーラシア大交流圏の成立	
	10	《中間試験》	1. イスラーム世界の拡大 2. ヨーロッパ封建社会の展開 3. 東アジア諸地域の成長と自立	
	11		4. ユーラシア大帝国の出現	
12	《期末試験》	2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 1. 明の国際秩序と東・東南アジア 2. 世界帝国清とアジア諸国の成熟 3. スペインとポルトガルの進出 4. イスラーム世界の成熟		

3 学 期	1		3章 主権国家体制の成立と交易の 拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。
	2		<ul style="list-style-type: none"> 1. ルネサンスと宗教改革 2. 主権国家の形成と「17世紀の危機」 3. 東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 	
	3	《学年末試験》	<ul style="list-style-type: none"> 4. イギリスとフランスの覇権争いと太平洋三角貿易 	